

**令和 7 年度**  
**狛江市立学校 PTA 連合会**  
**「市への要望」に対する回答**

令和 8 年 2 月 20 日  
狛江市教育委員会

# 全校共通 要望事項

## 1 待機児童の解消について

共働き世帯の増加に伴い、学童等子どもたちの居場所のニーズが年々高まっているなか、待機児童対策やサービスの拡充に向けて調整をいただいておりますが、依然として待機児童は発生している状況です、引き続き待機児童の解消に向けて取り組んでいただくよう、お願いいたします。

具体的には**放課後クラブを必要な家庭が利用できるように、入所・退所基準の見直し**をお願いします。児童の学年が上がるにつれて入所が難しくなりますが、毎日でも放課後クラブを利用したい家庭が入所できない一方で、あまり利用しないが、申し込んだら入所できたので入所している、という家庭がある、という声が挙がっております。入所の基準や、通所状況に応じた退所の基準を設けるなど、**必要な家庭が利用できるような仕組みに改善をお願いします。**

【回答：児童育成課】

現時点をもって待機児童の解消には至っておりませんが、学童クラブの定員については施設の拡大等、解消に向けてできるだけ対応するよう努めてきました。令和8年度からは、一定期間の登所実績がない場合や育成料の滞納がある場合は退所する仕組みにいたします。

## 2 不審者対策の強化について

立川での不審者立ち入りを受け、施設内を確認したところ、各階の廊下に数力所しか緊急呼び出しボタンがないことがわかりました、現在は人を呼び寄せるだけで、何が起こったかを伝えることはできません。

**各教室に内線を設け、職員室と連絡できる手段が必要です。**

外線を転送できるようなシステムを設ければ、教員が教室を不在にせずに児童の安否確認ができるとも考えます。

各校で児童の安全対策は講じているところではありますが、現在学校では誰でも侵入できてしまう状態にあるため、校門の自動施錠システム導入など、**不審者が物理的に学校に入れないような対策を講じることを要望**いたします。

また、市民等から寄せられた不審者情報について、学区によっては情報が届かないケースがあると聞いております。不審者が出た学区とは別の学区にいるから安全、ということはありませんので、全ての学区にメール送信するなど、**学区の垣根を越えた情報発信ができる仕組みづくりを要望**します。

【回答：学校教育課】

学校内の連絡手段や物理的なセキュリティ対策の強化については、費用面や運用面の課題を踏まえ、引き続き検討いたします。各学校のマニュアル作成や訓練実施等をとおした学校との連携、学校擁護見回り委託や学校警備委託の事業者との情報共有を行いながら、児童・生徒の安全確保に取り組んでまいります。

不審者情報につきましては、こまめ安心安全情報メールの登録についての周知や、各学校からの保護者への周知の徹底等、情報が広くいきわたるように引き続き努めます。

## 3 制服のコストカットについて

暑さ対策として夏の制服がポロシャツも可となりましたが、**学校指定のものは高額**です。色を揃えるなどして安価な市販品でも可としていただきたいと思います。

また、ポロシャツに限らず、市内の制服を統一して、リボンやネクタイで差別化するなど、制服の**全体的なコストカットの検討を要望**いたします。

【回答：学校教育課】

中学校の標準服については、各学校において選定していますので、ご意見については保護者の負担軽減の課題として中学校校長会で共有しました。

# 狛江第一小学校 要望事項

## 1 校内立ち入りの安全対策

一校の出入りは、警備員さんがいる場合は警備員さんに一声かけて入りますが、不在の場合はそのまま門を開けて入ることができます。防犯カメラが作動している旨の注意書きもありますが、もし不審者が門から入ろうとした場合、簡単に入れる状況です。

人手の問題や、閉めておくことへの不便さを考えると致し方ないのかもしれませんが、小学校の安全を守る対策は必要だと思えます。金銭的に難しい面もあるかと思えますが、安全への対策をお願いします。

【回答：学校教育課】

学校の物理的なセキュリティ対策の強化については、費用面や運用面の課題を踏まえ、引き続き検討いたします。各学校のマニュアル作成や訓練実施等をとおした学校との連携、学校擁護見回り委託や学校警備委託の事業者との情報共有を行いながら、児童・生徒の安全確保に取り組んでまいります。

## 2 タブレット使用に関する対応についての見直し

タブレットで利用している学習アプリが使いにくく、タップしても反応しない、指や安価なタッチペンではうまく操作できないことがあります。また、処理に時間がかかり学習意欲が削がれているといった声も挙がっています。タブレットや利用している学習アプリの見直しをお願いします。

また、子どもの負担軽減のために、タブレット利用に伴う持ち物の見直しも検討願います。高学年はタブレットを毎日持ち帰っていますが、同時に教科書も持ち帰っており、重いランドセルが児童の負担になっています。タブレットを軽量なものに見直し、教科書は学校に置いていけるようにする、家庭の端末からも学習アプリなどにアクセスできるようにする、といった子供の持ち物が軽くなる改善をお願いします。

【回答：学校教育課】

学習アプリについては、中長期的に円滑な利用が可能となるよう、令和7年度中に各学校の通信状況の調査を進めるとともに、令和8年度以降には調査結果に基づき必要なネットワーク環境の改善措置を予算要求に反映させました。

また、生徒が使用しているタブレット端末の重量については、国が示す最低基準（1.5kg程度を超えないこと）を満たしています。現在も持ち帰りが不要な場合に利用可能な充電保管庫を各校に整備するなどの取組を行っていますが、児童の負担軽減と学習環境の向上に向けて、今後も学校と協議を重ね改善に努めます。

なお、家庭の端末から学習アプリへのアクセスについては、学校で利用する他のソフトウェアにも接続できる等のセキュリティ上のリスクが懸念されるため、現時点での導入は困難と認識しています。

# 狛江第三小学校 要望事項

## 1 南部エリアの放課後クラブの円滑かつ早期の民営化

「狛江市放課後クラブ民営化計画」では、支援員の安定的な配置による円滑な運営と質の確保、開所時間の延長、多様な事業メニューの提供等によるサービスの拡充とともに、待機児対策としての定員の弾力化に対応するため、運営体制を抜本的に見直し、公設公営で運営している「放課後クラブ」を公設民営による「小学生クラブ」に段階的に移行する、としています。

この計画に基づき、和泉エリアでは、令和7年度開設に合わせて和泉小学校 放課後クラブを民営化し、小学生クラブに移行。

中央エリアでは、狛江第一小学校放課後クラブを令和7年度から民営化し、小学生クラブに移行しています。

一方で北部エリアと三小を含む南部エリアについては「段階的に民営化に移行することとしますが、エリア内の児童館の指定管理者との協議や財政負担等を考慮して、移行時期を検討することとします」とされており、時期が明確になっていません。放課後クラブから小学生クラブの転換は、保護者の要望の強い開所時間の延長等に応える対策と考えますので、円滑かつ早期の対応をお願いします。併せて子どもたちにサービスを提供する小学生クラブの職員についても、放課後クラブの民営化に伴いさらに負担とならないか心配です、職員の労働環境にもご配慮いただきますよう、お願いします。

【回答：児童育成課】

北部エリア、南部エリアの放課後クラブは民営化により令和8年度から小学生クラブとなります。これにより開所時間が拡大する等、保育サービスを拡充するとともに、弾力的な運用による受入れ数の拡大を図ります。小学生クラブの職員は受託事業者の職員となりますが、労働環境等も考慮して事業者を選定いたしました。

## 2 校庭に防球ネットの設置

校庭の門がある方向には住宅が隣接しており、過去に児童が校庭の門側に蹴ったボールがフェンスを越え、近隣の方の車にぶつかったことから、学校から住宅の方向にボールを蹴らないようにと声かけをしている状況です。

三小は校庭が比較的広いにもかかわらず、周辺環境により、遊びに制限をかけられていることを残念に思います。子供たちには勉強だけでなくこの校庭で思いきり遊び、健やかに成長して欲しいので、校庭の門側に高い防球ネットを設置するなどして、思い切り遊べる対策を講じていただくことを要望します。

【回答：学校教育課】

狛江第三小学校の防球ネットは一定の基準を満たしているものと考えていますので、費用面も踏まえ現段階では新たな防球ネットを設置することは考えておりません。

# 狛江第五小学校 要望事項

## 1 外部職員のいる別室教室の継続

昨年から別室教室への外部からの職員を確保するための都からの予算が出ていますが、2年間限定のため今年度で終了することになっています。

次年度も別室登校の児童の笑顔を守り、登校渋りをなくすため狛江市で引き続きの予算確保をお願いします。

五小がモデルケースとなり、狛江の他の小中学校でも外部職員のいる別室教室ができ、狛江が不登校児の少ない街になることを心より願っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

### 【回答：教育支援課】

不登校から学校復帰する段階にある生徒等に対して、学校内で安心できる場を提供し、学びの継続等につなげるため、今年度から狛江第一中学校、狛江第二中学校及び狛江第三中学校に校内教育支援センターを設置するとともに、支援員を配置しています。加えて、当該支援員が各中学校区ごとのゾーンの小学校へアウトリーチすることで、一体的な不登校支援に取り組んでいるところです。

令和8年度に、東京都の校内別室指導支援員配置事業については終了いたしますが、引き続き、全中学校への校内教育支援センター設置に向けて協議・検討を進めるとともに、ゾーンの小学校へのアウトリーチ支援も継続できるよう予算要求に反映させました。

# 狛江第六小学校 要望事項

## 1 六小学区の学童待機解消への切実なお願い

六小学区では、児童数に対して学童の受け入れ体制が著しく不足しており、待機児童の解消が喫緊の課題となっております。

現状、六小学区の受け入れ枠は140名にとどまり、三小学区の200名と比較して実に60名の差があります。これは地域の実情を反映したもので、実際の受け入れ数に近いです。

特に、低学年児童が安全に通える六小放課後クラブと駒井学童の増枠は急務です。「猪方みんなの家こどもクラブ」は距離の問題から実質的な選択肢とはなりにくく、頼れる施設が限られているのが現状です。

また、三小学区にある岩戸児童センターのような、大人数を受け入れられ、天候に左右されず安心して過ごせる施設が六小学区にも必要です。

つきましては、以下の施策を強く要望いたします。

### 1. 六小学区における新たな学童クラブの設置（児童センター機能を含む）

### 2. 六小放課後クラブおよび駒井学童の受け入れ枠の増加

六小学区の子どもたちが安心して放課後を過ごせるよう、早急な対応をお願いします。

【回答：児童育成課】

六小学区においても待機児童が発生していることは認識しております。待機児童対策として、学区ごとの発生状況を加味し、より待機児童数が多い学区を重点的に対策を検討していく必要があると考えております。令和7年度において待機児童が多い学区は一小、五小、緑野小学区となっております。このような状況の中で六小学区において新たに学童クラブ機能を持つ児童センターの設置は考えておりませんが、六小放課後クラブの民営化に伴い、令和8年度に六小小学生クラブにおいて弾力化による受入れを行います。

なお、駒井学童保育所については面積基準の許す範囲で既に弾力化を行っており、当面継続いたします。

## 2 1小、5小で発達サポーターが有償ボランティアとして配属されていますが、6小にも配属を希望します。

6小は狛江市内の他校の小学校に比べて全体的に1クラスの人数が多く、年々通級の児童が増えています。

見逃されてしまう子供同士のトラブルや、授業中教科書やノートのどこを見たら良いかわからない生徒への声かけなど、児童、教員共に過ごしやすい環境作りのサポートとして配属を希望します。

【回答：子ども発達支援課】

発達サポーターについては、昨年度狛江第一小学校での派遣を開始し、今年度からは狛江第五小学校へも派遣しています。派遣先を増やすためには、担い手を増やすことも

重要です。引き続き、活動できる発達サポーターを増やせるよう取り組むとともに、全小学校へ派遣できるよう協議・検討を進めてまいります。

# 狛江市立和泉小学校 要望事項

## 1 水泳の授業について

全学年が天候に左右されることなく、安心して水泳の授業を受けられるよう、衛生面や授業内容の質・安全面においても、より適切な環境で実施できるよう、外部施設（イトマン）の活用を希望します。

【回答：学校教育課】

昨年度に引き続き、今年度も学校プール民間施設等活用試行実施事業を実施しており、令和7年度は全小学校の5、6年生を対象に進めています。令和8年2月に策定した「学校プール民間施設等活用試行実施事業の検証結果と今後の方向性」では、（仮称）西和泉スポーツ施設が整備されるまでの間は、現在の取組を継続することとしており、令和8年度においては令和7年度に引き続き全小学校の5、6年生を対象とした事業を実施する予定です。

## 2 冷房機器について

教室内の冷房機器につきまして、修繕または交換を希望します。昨年度は冷房を使用しても室温が30度を下回らない教室があり、熱中症のリスクが懸念されました。児童が安心して学習に取り組める環境整備のため、改善をお願いします。

【回答：学校教育課】

学校の冷房機器につきましては、日頃から不具合のあるものについて修繕を行うとともに、改修工事等において耐用年数を超えているものについて交換を行っています。昨今の記録的な高温や猛暑日の増加については、教育委員会としても憂慮しているところです。冷房機器のほか、緑のカーテンや日除けシェード等を設置している学校もあり、引き続き学校と連携しながら、子どもたちの学習環境の整備に取り組んでまいります。

# 狛江市立緑野小学校 要望事項

## 1 特別支援学級人数増加への対応

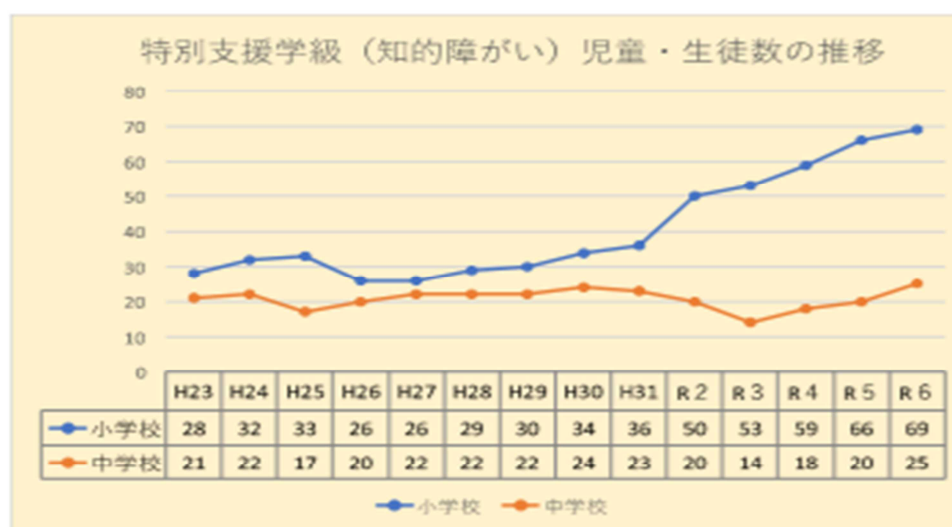
狛江市で知的障がい特別支援学級を設置している小学校は第一小学校と緑野小学校の2校ですが、緑野小学校の特別支援学級（えのき学級）でも近年在籍児童が増え、教室が相対的に手狭になっています。

その結果、スペースに余裕がないことから、感覚過敏のある児童が周囲の環境に影響されて集中しづらいといった事例も見受けられます。建物の構造上、対応が容易でないことは理解しておりますし、先生方が日々さまざまな工夫を凝らしていただいていることにも感謝しております。

これからも子どもたちが授業に集中して取り組めるよう、可能な範囲でのご配慮とご対応を引き続きお願い申し上げます。

	R3.5.1 現在	R4.5.1 現在	R5.5.1 現在	R6.5.1 現在	R7.5.1 現在
えのき学級 児童数	27人	33人	37人	36人	36人

〔緑野小学校 知的障がい特別支援学級(えのき学級)児童数推移〕



狛江市における特別支援学級(知的障がい)児童・生徒数の推移  
〔第4期 狛江市教育振興基本計画(令和7年3月)P9 より抜粋〕

### 【回答：教育支援課】

ご指摘のとおり、えのき学級の在籍児童数は増加傾向にあります。今後も学校全体の児童数の推移を注視するなど見通しをもって対応していく必要があります。引き続き、学校と連携し適切な教育環境を提供できるよう取り組んでまいります。

# 狛江第一中学校 要望事項

## 1 部活動のための再登校について

下校時間が早い日は一度帰宅をし、部活動のために再登校をしていますが、自宅が遠方の生徒は帰宅をしても休む間もなく学校へ向かうため、負担になっています。夏季は特に熱中症の危険もあります。再登校ではなく、部活動までの時間は学校内で待機し、自習できるような環境を整備していただきたいという声がありました。

### 【回答：指導室】

学校では、生徒を下校させた後、よりよい授業や行事等が運営できるよう会議や研修等を実施しています。季節に関わらず、自習できる環境を整えるためには、校内での生徒の安全管理を実施する必要があり、教職員の対応が困難なところです。御意見を踏まえまして、会議等のすすめ方について、工夫できる手立てがあるのか、学校に伝えさせていただきます。

# 狛江第二中学校 要望事項

## 1 冷水機、スポットクーラー等熱中症対策設備の設置

昨今の異常な暑さで、生徒たちも疲弊しています。持参した水筒を飲み切ってしまうと、水を飲むことを我慢してしまう生徒も多く、大変危険なため、水筒に補充するための冷水機の設置を、短い休み時間の間に補充できるよう、各階への設置を希望します。

また、部活を体育館前の廊下等で行うことも多々あり、大変暑いためスポットクーラー等の設置をお願いします。

【回答：学校教育課】

冷水器等の設置については、費用面をはじめ、衛生管理面、授業への影響等、総合的な視点を踏まえ、慎重に検討する必要があると考えています。

スポットクーラーにつきましては、他校で不要となっているものもありましたので、必要な場所に配備できるよう調整してまいります。

## 2 吹奏楽部の楽器について

計画的な継続した楽器購入、楽器整備の補助を希望します。

また、楽器のリースを活用し、古い楽器や不足している楽器の整備を希望します。生徒、保護者の方々より切なる要望ですので、別途資料を添付します。

【回答：学校教育課】

楽器整備については、各学校の状況等から予算の必要性を感じているため、令和4年度からこまめ応援寄付金の使いみち項目に小中学校の楽器整備を設け、令和6年度からその寄附金額を活用して年度毎に各学校へ配当しているところです。

教育に係る予算については、多くの教育課題に対して、優先順位を検討しながら配分しています。部活動に係る予算についても同様です。吹奏楽部への楽器整備については、他の部活動との公平性等も踏まえつつ、対応すべきものと考えています。

また、学校間で楽器を共有するなど様々な方法も検討しながら、学校と連携して対応したいと考えています。

## 3 教室プロジェクタースクリーンの取り換え

授業で使用するプロジェクターのスクリーンが破れて、正しく画像が投影されていません。GIGAスクール構想に基づき、ICT教育の一環で子どもたちは一人1台のタブレットを使用し授業を受けております。

先生方の授業でもプロジェクターを利用し、画像を共有する授業がありますが、スクリーンが破れている状態では授業にも支障があるため、破れているスクリーンの交換を要望します。

【回答：学校教育課】

ご要望に関しましては、現在、教育委員会において狛江第二中学校への聞き取りを行った上で、損耗が激しいスクリーンの入替の対応を進めております。

# 狛江第三中学校 要望事項

## 1 暑さ対策（冷水機の導入、スポットクーラーの導入）

昨今の異常な暑さで、生徒たちが疲弊しています。

持参した水筒を飲み切ってしまうと、水道水しか飲めないため、水を飲むことを我慢してしまう生徒がいて危険です。水筒に補充するための冷水機の設置を希望します。休み時間も短い為、各階への設置を希望します。

また、部活を体育館前の廊下等で行うことも多々あり、エアコンが届かない為、スポットクーラー等の設置をお願いします。

【回答：学校教育課】

冷水器等の設置については、費用面をはじめ、衛生管理面、授業への影響等、総合的な視点を踏まえ、慎重に検討する必要があると考えています。

スポットクーラーにつきましては、他校で不要となっているものもありましたので、必要な場所に配備できるよう調整してまいります。

# 狛江市立狛江第四中学校 要望事項

今年度の独自要望はなし。